

Mémoire 2024

第54回 高松宮記念(GI)



雨中のイン突きで初戴冠 マッドクール

春雨に煙る中京競馬場で、新スプリント王が誕生した。

5年連続で重か不良馬場での開催となった高松宮記念。1番人気はシルクロードSを圧勝してきたルガル、2番人気がスプリント重賞4勝のナムラクレア、3番人気には前年のスプリンターズSを制し2023年度JRA賞最優秀スプリンターに輝いたママコチャが推されていた。

ゲートが開くと、2番枠から抜群のスタートを決めたマッドクールは先頭を譲るように内に控え、香港のビクターザウィナーが逃げてレースを進める形となった。好位には押して出たウインカーネリアンやルガル、ママコチャも加わり、京阪杯とオーシャンSを連勝中のトウシンマカオや、この日がラストランでレース後には引退式も予定されているメイケイエールなどがこれに続いた。

逃げるビクターザウィナーが直線、馬場の真ん中で粘り込みを図る。他にも重馬場を考慮して外へ進路を取る馬も多い中、そのままインを突いたマッドクール。「内ラチ沿いギリギリを攻めていって思い通りのレースができました」と振り返った坂井瑠星騎手の狙い通り、残り200mの手前で先頭に立つと、伸びあぐねる後続を突き放す。ただ

1頭、やはり内ラチ沿いを猛然と追い込んできたのは前年の高松宮記念2着、スプリンターズS3着のナムラクレアだった。

1完歩ずつ差を詰めるナムラクレア。しかしマッドクールがアタマ差、振り切ってゴールを果たし、重賞初制覇をGIで飾った。

未勝利馬だった頃から何度もコンビを組み、約2年前、3歳5月の初勝利の直後には「担当者の方と、高松宮記念に行きましょうという話をしていました」と明かした坂井騎手。前年秋にはようやく迎えたGI初挑戦のスプリンターズSでハナ差2着と、悔しい思いをしていた。足踏みしていた期待馬が、ついに大舞台でその素質を花開かせた高松宮記念となった。

第54回高松宮記念(GI)

3/24 中京競馬場 1200m(芝・左) 小雨・重 18頭									
着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位	
1	マッドクール	牡5	58	坂井 瑠星	池添 学	1:08.9	⑥	③	③
2	ナムラクレア	牝5	56	浜中 俊	長谷川浩大	アタマ	②	⑩	⑩
3	ビクターザウィナー	騾6	58	K. リヨン	C. シヤム	3	⑤	①	①
4	ウインカーネリアン	牡7	58	三浦 皇成	鹿戸 雄一	1 1/2	⑪	②	②
5	ロータスランド	牝7	56	岩田 康誠	辻野 泰之	ハナ	⑫	⑬	⑬

マッドクール
栄光の蹄跡

2

Dark Angel 115 S
⑥ マッドクール
Mad About You (Indian Ridge)
2019.3.29 生 愛・Moyglare Stud Farm Ltd



牡5 芦 坂井 瑠星
1997.5.31生 O型
58 南サンデーレーシング
池添 学(栗東)

2023.12.10 香港
香港スプリントGI
10ト — 8(104)
57*。 C. デムーロ
芝1200良 1:09.9

2023.10.1 中山
スプリンターズSGI
16ト 6人 2(115)
58*。 坂井 瑠星
芝1200良 1:08.0

2023.7.2 中京
CBC賞GIII
12ト 1人 9(98)
58.5*。 坂井 瑠星
芝1200良 1:08.2